

☆クイズ☆トラの目はどれでしょうか？



答えはトラ舎に掲示しています

おびひろ動物園絵日記 パート④

オレのものは
オレのもの

お前のものは
オレのもの



ここまで
おいて



ゆめでよかった

いじわる
しないで

ずっと

なかよして
いようね



なんだかさいきん
ルカちゃんが

からだも、たいども
大きくなってきた

このままだと
きっと……



ブログ携帯版
はコチラから



おびひろ動物園情報誌『Zoo Zoom おびひろ』平成29年度冬号

発行日：平成29年12月2日

編集・発行：おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市字緑ヶ丘2番地

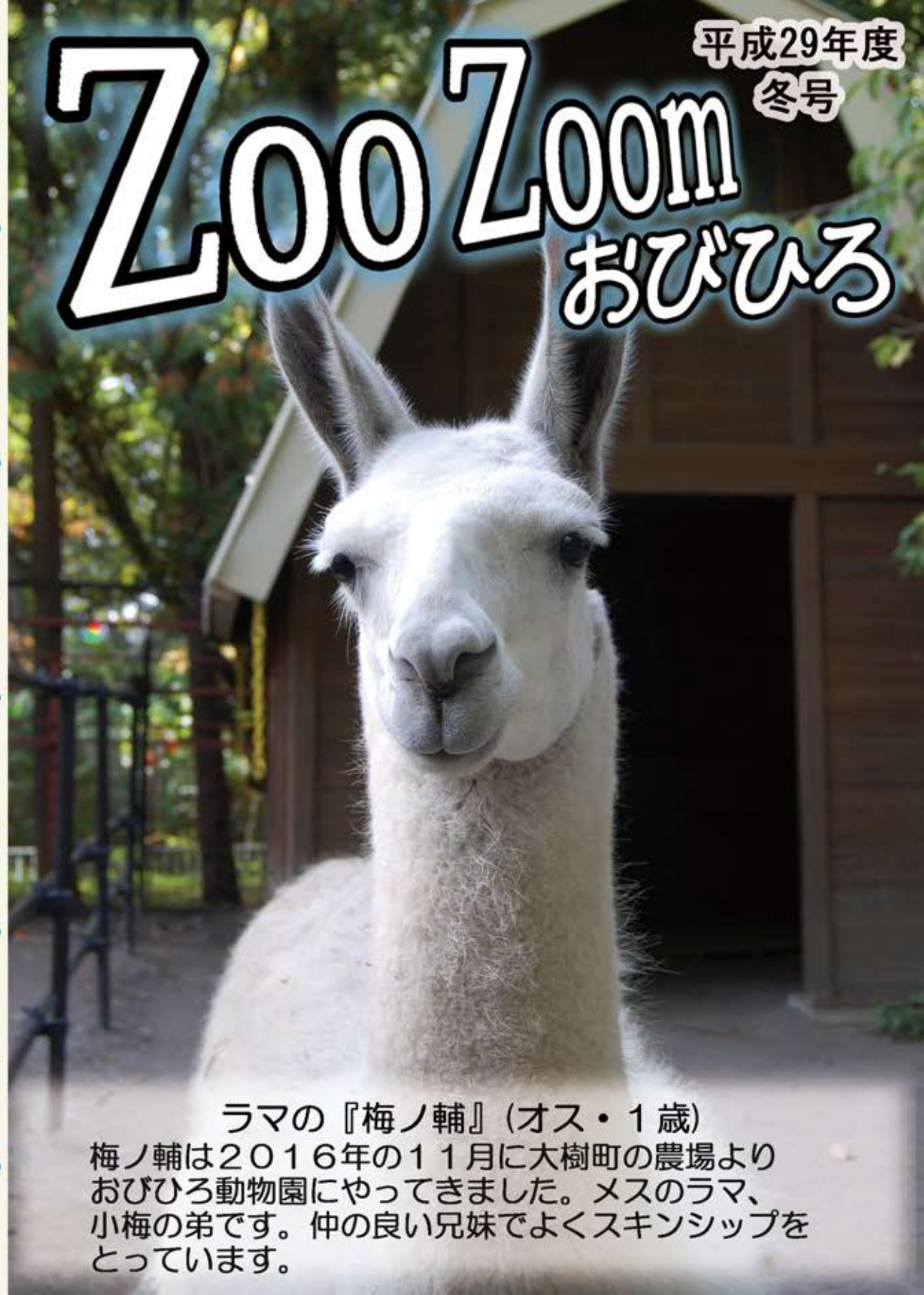
TEL：0155-24-2437 E-mail：zoo@city.obihiro.hokkaido.jp

ホームページ：http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/zoo/

ブログ：http://www.mytokachi.jp/bp/obihirozoo/

平成29年度
冬号

Zoo Zoom おびひろ



ラマの『梅ノ輔』(オス・1歳)

梅ノ輔は2016年の11月に大樹町の農場よりおびひろ動物園にやってきました。メスのラマ、小梅の弟です。仲の良い兄妹でよくスキンシップをとっています。

ハズバンダリートレーニングのとりくみ

★ ハズバンダリートレーニングとは？

ハズバンダリートレーニング（受診動作訓練）とは動物に協力してもらい、健康管理や治療のために必要な動作を自主的に引き出す訓練をいいます。動物へのストレスや負担が少なく、動物も人も安全に体調管理や治療ができるように訓練を行っています。



★ アミメキリンの採血と削蹄



◆キリンは麻酔をかけることが難しく、病気やケガをしたときに処置が難しいといわれている動物です。麻酔をかけずに健康診断や治療ができるよう飼育担当と獣医師が協力してトレーニングをはじめました。まず、印をつけた棒（ターゲット）にならす練習からはじめ、ターゲットにさわるとエサがもらえるということくりかえし教えます。キリンの気分が乗らなければトレーニングを行わないこともあります。



◆キリンがターゲットにさわるとエサをもらえることを覚えたら、そのまま首にさわると練習をします。飼育員がさわっていても気にしなくなると、先を丸めた竹串や針金で皮ふをつついて少しずつ刺激になれさせ、注射の針を刺す練習を行いました。そして、もう絶対にできると思えるまで練習を積んだ2017年9月16日、実際に注射の針を刺し、はじめての採血に成功しました。メープル（オス・3才）はその間、全く気にすることなくエサを食べ続けていたのです。



◆キリンはひづめのトラブルが起こりやすいため削蹄（ひづめをけずって整えること）ができるように脚やひづめにさわったり、足を決まったところ上げてヤスリをかける練習や、触診や血圧を測ることができるように体のどこでもさわられるようにトレーニングを行っています。

★ ライオンの体重測定



◆ライオンは体重測定や口の中のチェック、採血などの健康管理を行う目的でハズバンダリートレーニングを行っています。手の動きで指示を出して（ハンドサイン）口を開けたり、ターゲットで指示した場所に来るとエサがもらえることを理解してもらいます。指示のとおりに行ける日があったり、できない日があったりしますが、トレーニングはうまくできなくても叱ったりはしません。うまくできたときにたくさんほめて、ライオンが自分からすすんで行動してくれるように根気よく続けます。



◆2017年6月にはじめての体重測定が成功し、ヤマト（オス・3才）の体重は約150kgということが分かりました。体重はエサや薬の量を定めるためにとっても重要な情報です。その後は月1回程度の測定を行って健康管理に役立てています。ほかにもできることが増えるよう、飼育担当が方法を工夫しながら頑張っています。



★ エゾシカの注射



◆エゾシカは毎年秋に麻酔をかけてオスの角切りを行っています。これまでは麻酔銃を使って薬を注射していましたが、ケガや事故の危険をより少なくするため、手で直接注射を打てるようにトレーニングを行っています。シカは警戒心が強い動物ですが、個体の性格にはそれぞれ差があり、トレーニングの進み具合は異なります。今年の角切りでは4頭いるオスのうち、2頭に直接注射を打つことができました。

🌸 おねがい



ハズバンダリートレーニングをしている間は動物も飼育員も集中しています。お声がけにすぐに答えられないことがあります。ご容赦ください。また、大きな声を出したり手をたたいたりせず静かに見守ってください。（これはトレーニング中じゃなくても）

